

## 住宅の環境性能を高めて 美しく心地良い暮らしを クール・ネット東京

### Point 1

#### 住まいに景色と光・風を導く大開口

風景をダイナミックに取り込む大開口は、同時に外部の熱の影響を受けやすい場所でもある。木製や樹脂などの高断熱サッシや複層ガラス、ヘーベシーベ（引き戸が持ち上がりスライドする開閉機構）で断熱・気密性を高めると良い。

Photograph : Nacása & Partners

Text : Mai Uebayashi

### Point 2

#### 快適が持続する床下蓄熱システム

床下に設けた蓄熱材に熱を蓄え、輻射で穏やかに放熱・放冷する仕組みを採用。床下全体に熱が行きわたり、年間を通して室温が安定。熱源に再生可能エネルギーを利用し、エネルギー効率の良いエアコンと組み合わせることで、環境負荷を抑えた暮らしを実現でき、光熱費の軽減にもつながる。

借景を生かした設計で伸びやかな空間を実現した、東京の住宅街に立つ豊田邸。開口のデザインや空調方式にこだわることで、心地良さのある美しい住まいがかなった

大きな窓から光と緑を取り込み、開放的なプランや好みのインテリアを楽しみたい……。そんな美しく心地良い暮らしを実現するには住宅の環境性能が重要だ。

環境性能とは、断熱性・省エネ性・再エネ設備を軸に、外気の影響を受けにくく、少ないエネルギーで安定した快適さを保つための総合的な性能のこと。これらが整えば、冬は底冷えせず夏は熱気がこもりにくく、ヒートショックなど健康面でのリスクも軽減される。さらに結露やカビの発生を抑え、住まいの耐久性を高める効果も期待できる。断熱性が高まると、デザイン面でのメリットも。熱損失が抑えられるため、上下階の温度ムラや光熱費が気になりやすい大開口や吹き抜け、ワンルームのオープンなプラン、土間やインナーテラス、スキップフロアなど、ライフスタイルに合うデザインも無理なく取り入れられる。

さらに、省エネ性の向上は、暮らしの「燃費の良さ」を高める要素に。高効率エアコンや給湯設備、LED照明を組み合わせることで光熱費の軽減が期待でき、太陽光発電などの再エネ設備は災害時の備えとしても心強い。

東京都では、こうした取り組みを後押しする補助制度が用意されている。断熱性能の向上や省エネ設備、太陽光発電の設置などが対象となり、初期費用の負担を抑えられる。

住宅の環境性能を整えることは、自分らしく、心地良く、安心して暮らせる「ウェルビーイング」な暮らしを支える基盤となる。都市全体の省エネにも貢献し、社会の豊かさへとつながるという点でも、これからの住まいづくりの大切な視点となるだろう。



〈住宅の環境性能に関する特設サイトはこちら〉

クール・ネット東京

URL : <https://www.tokyo-co2down.jp>

TEL.03-5990-5236(ワンストップ総合相談窓口)